

講演会（2024年度日本建築学会関東支部研究発表会同時開催）

## 指定・登録後の文化財建造物を取り巻く状況と課題 －所有者側の視点から－

講演：二階堂行宣（法政大学 教授）／ 進行：藤木竜也（千葉工業大学 教授）

建築史研究の実践活動(社会還元)の1つに歴史的建造物の文化財への指定・登録が挙げられます。学識者は文化財にするまでには多く関与しますが、文化財になってから後にどのような課題が潜在するかは理解が乏しいのではないのでしょうか。指定・登録後の文化財建造物を取り巻く課題への理解を深めることは、新たに文化財の指定・登録を講ずる上でも意義あるものと考えます。父方の家が重要文化財・二階堂家住宅、母方の家が登録有形文化財・矢田貝家住宅と、それぞれ文化財である2つの民家の管理に関わられる二階堂行宣氏(法政大学教授)を招き、講演会を開催します。



二階堂家住宅(重要文化財／鹿児島県肝付町)

矢田貝家住宅(登録文化財／鳥取県伯耆町)

日 時：2025年3月5日(水) 15:10～16:40

会 場：横浜国立大学 理工学部講義棟A 301講義室

〒240-0067神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79

参加費(資料代)：会員 500円 会員外1000円 学生200円  
(申込不要・当日会場にて受付けます)